

平成23年6月23日

## 平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

今年度末の平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、大地震や津波、原発事故などにより大きな被害をもたらしたうえ、東日本に限らず国土全体の経済活動や国民生活にも影響を及ぼすなど、今なお展望の見えない未曾有の危機に直面することとなりました。地震発生直後から、当館においてもご予約を取り消されるお客様が相次ぎ、平成23年度の企画である「セガンティーニ展」への出展作品についても当初は中止の可能性も含め流動的でしたが、先日ようやく開催の目途が立ちました。今後においてその影響について十分注視する必要があります。このような状況のなか、開館12年目を迎えた平成22年度は年間来館者数10万473人で事業年度4期連続10万人の入館者をお迎えすることが出来ました。

常設展 平山郁夫館では第1期から第3期として、追悼展 平山郁夫—平和の祈り—、平山郁夫とシルクロード「東アジア—緑の大地」、 「文化遺産を描く」、を開催、佐藤忠良館では第1期から第3期として、佐藤忠良 ブロンズの詩「となりびと」、「めばえ」、「彫刻家の眼」を開催、樂吉左衛門館は2期として、「開館3周年 吉左衛門ベストセレクション」、「吉左衛門X LOUBIGNACの空の下で 樂吉左衛門フランスでの作陶—友人アンドッシュ・プローデルと共に」を開催し、年間を通して三作家の制作への想いを広く紹介いたしました。また、樂吉左衛門館茶室においては、毎週木曜日から日曜日と祝日の予約制で見学会を実施し、約1万2千人のお客様に茶室をご覧いただきました。又、第1・3金曜日に呈茶、6月には第二回蘆聚茶会、そして今期より初めての試みとして春の青蘆茶会、冬に寒蘆茶会を開催いたしました。

特別企画展として、春季には「竹久夢二 —憧れの欧米への旅—」を開催、夢二が晩年に欧米を旅行した際に描いたスケッチを中心に油彩・素描作品を紹介

介いたしました。つづく夏季には「市川里美とバーナーデッド・ワッツ ヨーロッパ珠玉の絵本原画展」を開催、市川里美氏とバーナーデッド・ワッツ氏のお二人が長い時間をかけて優しく創った美しい絵本の原画を中心に貴重な作品や展示物を数多く紹介いたしました。つづく秋季から冬季にかけては、「吉左衛門X LOUBIGNACの空の下で 樂吉左衛門フランスでの作陶 友人アンドッシュ・プローデルと共に」を開催、樂吉左衛門先生が2007年以降4年間にわたり毎年夏、フランス南西部コレーズ地方ルビニャック村に滞在、友人である陶芸家アンドッシュ・プローデル氏の陶房にて茶碗・花器・水指など多くの作品を制作されました。それらの中から茶碗を中心に友人アンドッシュ・プローデル氏の作品と共に展覧いたしました。同じく秋季から冬季にかけて「脇田美術館所蔵 脇田和展一鳥と遊ぶー」を開催、脇田和氏の80年に及ぶ画業の中から特に鳥に注目し、初期の作品から晩年までの作品を展示することで脇田芸術を代表するモチーフを一連の流れを通して展覧いたしました。冬季は国宝の梵鐘を展示いたしました。又、第2回こども絵画コンクールには全応募点数が1,027点にも上り73作品を展示いたしました。

教育普及活動として、「さがわキッズミュージアム」を開催し、子供から大人まで家族が楽しめる企画を実施いたしました。また、5年目となる小中学生無料開放「びじゅつかんでなつやすみ」を実施し、夏休み期間中に3,307名の小中学生が来館しました。また、次代を担う子供たちに「美術館や美術作品にもっと気軽に親しんでもらいたい」という願いのもと、ワークショップを15回実施、1,380名が参加いたしました。

広報面では、4年目となる路線バス2台のボディをPR広告で包み、守山市近郊の路線を走らせ、教育普及活動マスコットキャラクター「さがわん3兄弟」が県内外のイベントに参加し、広く佐川美術館の取り組みをアピールしてまいりました。

友の会会員様、来館者に向けたイベントとして、国内ツアー「しまなみ海道を巡る」と海外ツアー「仏教伝来 インドの旅」「フランス作陶の旅」を催行、

8・9月に3回のトワイライトコンサート、年間を通してのロビーコンサートを開催、又展覧会内容に沿った講演会の実施により、美術館と来館者との円滑なコミュニケーションを図ることができました。

他の美術館・博物館との交流といたしまして、平山郁夫美術館へ作品の貸し出しを行い、開催地において各メディアへの幅広い広報活動を積極的に行いました。また、地元の活動として夏季において、滋賀県立近代美術館、滋賀県立陶芸の森陶芸館、MIHO MUSEUM との共同企画でのスタンプラリーを実施し、多くの人にご参加いただきました。

今後も主務官庁の滋賀県並びに守山市、各メディアを通じて交流と広報活動を積極的に行い、地域の活性化と文化活動に貢献する佐川美術館、そして文化交流の発信地として広く社会創造に寄与していく所存です。

## 《公益目的事業》

美術品・工芸品の展示公開を通して、国民の文化芸術に対する創造的な育成と文化発展を図る事業(定款第4条第1項第1号～4号)

### 1. 美術館の収集、保存及び一般公開

#### 平山郁夫館〈平和の祈り〉

第一期(2月2日～8月1日)

- ・追悼展 平山郁夫 ―平和の祈り―  
 壮大な画業と世界平和に向けた偉業を紹介。

第二期(8月3日～11月14日)

- ・平山郁夫 東アジア ―緑の大地―  
 東アジアを描いた作品を展示。

第三期(11月16日～3月21日)

- ・平山郁夫 文化遺産を描く  
 文化遺産の数々を描いた作品を展示。

#### 佐藤忠良館〈ブロンズの詩〉

第一期(3月20日～7月11日)

- ・佐藤忠良 となりびと  
 身近な人をモデルにした作品を展示。

第二期(7月13日～11月21日)

- ・佐藤忠良 めばえ  
 こどもの像を中心にこどもをテーマに展示。

第三期(11月25日～3月14日)

- ・佐藤忠良 ブロンズの詩「ポーズをとる女性たち」  
 女性像の作品に焦点を当てた展示。

#### 樂吉左衛門館〈守破離〉

第一期(3月20日～8月29日)

- ・開館3周年記念、吉左衛門ベストセレクション展  
 28作品を展示。

第二期(9月4日～3月21日)

- ・吉左衛門X LOUBIGNACの空の下で  
 樂吉左衛門作品とアンドッシュ・プローデル氏作品のコラボレーション展。

2. 美術に関する各種展覧会の企画及び開催〈特別展示室〉

竹久夢二展「一憧れの欧米への旅」

(4月24日～6月13日) 入館者数 26,590人

市川里美とバーナーデッド・ワッツ

ヨーロッパ珠玉の絵本絵画展

(7月6日～8月29日) 入館者数 24,340人

脇田美術館所蔵 脇田和展 一鳥と遊ぶ

(10月5日～12月19日) 入館者数 20,784人

所蔵作品展 国宝梵鐘展

(1月2日～1月23日) 入館者数 2,182人

第2回こども絵画コンクール 優秀作品展覧会

(2月5日～2月27日) 入館者数 3,385人

3. 美術文化に関する講演会、シンポジウム等の教育普及活動

「さがわきっずみゅーじあむ2010」の開催

募集型ワークショップ 全15回 1,380人

夏休み小中学生無料開放の実施

夏休み期間において小中学生3,307人の入館

佐川美術館 こども絵画コンクール

応募総数 1,027点 (内73点が佳作以上)

さがわんとクリスマスの開催

親子ワークショップ/クリスマスコンサート 1,203人

特別内覧会開催

「吉左衛門 X LOUBIGNAC の空の下で」

フランスでの作陶 一友人アンドッシュ・プローデルと共に一  
のオープニングにあたり、プレスレビューおよび特別内覧会  
を開催

講演会・鼎談・ギャラリートーク

鼎談

市川里美とワーナーデッド・ワッツ ヨーロッパ珠玉の絵本

原画展 記念鼎談 7月6日 聴衆220人

記念対談

市川里美とワーナーデット・ワッツ ヨーロッパ珠玉の絵本

原画展 記念対談 7月10日 聴衆200人

ギャラリートーク

担当学芸員による絵本原画作品解説

6月20日・7月4日・25日・8月1日・22日聴衆40人

ロビーコンサート／8回開催

5月22日(土) 11:00、14:00より 聴衆250名

「竹久夢二によせて」

6月5日(土) 18:00より 聴衆250名

「真依子 ほたるコンサート」

7月25日(日) 13:00より 聴衆200名

「深川和美とミュゼット・ジャズ・デュオ」

10月9日(土) 11:00、14:00より 聴衆150名

「デュオ・ヴィーヴイル」

11月27日(土) 18:00、14:00より聴衆250名

「D o l c e」

12月23日(木・祝) 14:30より 聴衆300名

「佐合井マリ子 クリスマスコンサート」

1月8日(土) 11:00、14:00より 聴衆210名

「葉衛陽・さくら 中国琵琶新春コンサート」

2月12日(土) 11:00、14:00より 聴衆150名

「MIYABI 女性弦楽四重奏」

トワイライトコンサート／3回開催

8月28日(土) 18:00より 聴衆200名

「ファルワーレ ハープの共演」

9月11日(土) 18:00より 聴衆250名

「ミュージックACE ジャズオーケストラ」

9月25日(土) 18:00より 聴衆200名

「オルケスタ アストロリコ」

「友の会」ツアー

海外ツアー<仏教伝来 インドの旅> 参加者16名

国内ツアー<しまなみ海道を巡る> 参加者26名

海外ツアー<フランス作陶の旅>

参加者 8名

記念イベント開催

「第2回蘆聚茶会」

◆5月31日(月)～6月2日(水) 出席者 114名

「青蘆茶会」

◆6月22日(火)・23日(水) 出席者 60名

「寒蘆茶会」

◆11月16日(火)・17日(水) 出席者 60名

4. 美術工芸に関する図書の作成及び刊行

佐川美術館友の会 会報誌「うつろひ」を作成・刊行

3月20日、7月1日、10月1日、1月1日の4回発行

A5版 各号 3,300部

佐川美術館オリジナルカレンダーの作成・刊行

佐川急便株式会社並びにSGホールディングスグループ

各社に対する物販事業 37,038部

図録の作成及び刊行

・「吉左衛門 X LOUBIGNAC の空の下で」

フランスでの作陶 —友人アンドッシュ・プローデルと共に

・脇田美術館所蔵 脇田和展 —鳥と遊ぶ—

《収益事業》

法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第5項)

1. コーヒーショップ・ミュージアムショップ運営会社へのスペース  
賃貸事業
2. 佐川美術館オリジナルカレンダーの販売及び企画展作品・建物の  
図書販売事業

平成22年度展示実績

入館者数 100,473人 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 企画展

期 間	展 覧 会 名	展 示 品 数		
		展 示 品 名	数	計
2月2日～8月1日	追悼展 平山郁夫 —平和の祈り—	平山郁夫	本画	18
			素描	52
3月20日～7月11日	佐藤忠良 となりびと	佐藤忠良	彫刻	30
			素描	6
4月2日～8月29日	開館3周年記念 吉左衛門ベストセレクション展	樂吉左衛門	陶芸品	27
7月13日～11月21日	佐藤忠良 めばえ	佐藤忠良	彫刻	36
			素描	5
8月3日～11月14日	平山郁夫 東アジア—緑の大地	平山郁夫	本画	12
			素描	52
11月16日～3月21日	平山郁夫 文化遺産を描く	平山郁夫	本画	12
			素描	52
11月23日～3月21日	佐藤忠良 彫刻家の眼	佐藤忠良	彫刻	31
			素描	8

(2) 特別企画展

期 間	展 覧 会 名	展 示 品 数		
		展 示 品 名	数	計
4月24日～6月13日	竹久夢二展 —憧れの欧米への旅—	竹久夢二	絵画	171
7月6日～8月29日	市川里美、バーナデット・ワッツ ヨーロッパ珠玉の絵本原画展	市川里美	絵本原画	213
		バーナデット・ワッツ	絵本原画	130
9月4日～3月21日	吉左衛門X LOUBIGNACの空の下で 樂吉左衛門フランスでの作陶 友人アンドッシュ・ブローデルと共に	樂吉左衛門	陶芸品	17
		アンドッシュ・ブローデル	陶芸品、写真	14
10月5日～12月19日	脇田美術館所蔵 脇田和展 —鳥と遊ぶ—	脇田 和	絵画	63
		佐藤忠良	彫刻	4
1月2日～1月23日	所蔵作品展 国宝・梵鐘	黒田辰秋 他	工芸・絵画	27
			国宝・梵鐘	1
2月5日～2月27日	第2回子供絵画コンクール 優秀作品展覧会	一般応募作品	絵画	73/1,027